



二十六聖人

令和4年6月号

(令和4年5月29日発行)

教会だより

2022. 6 No. 348

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296
<http://www.futamatagawa-cc.com/>
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

イエス様のみ心

シェル・シルヴァスタインの「おおきな木」という絵本があります。一本の大きな木があって、その木には愛する一人の少年がいました。木と幼かった少年は友達のように互いに愛していて、木は少年に葉っぱやリンゴも与え、彼の遊び場や休み場ともなってくれました。それで木は満足し幸せだったのです。しかし、時が経てば経つほど、少年と木は共にいる時間が減りました。そしてある日、久しぶりに訪れた少年はもう木と遊ぶにはあまりに年を取っていて、自分にはお金が必要だと言いました。そこで、木は自分のリンゴを全部与え、それでお金を稼ぐようにと言いました。少年は木の言ったとおりにしましたが、それでも木は幸せだったのです。でも、今度も少年は長い間戻って来てくれませんでした。そんなある日、ついに少年は戻ってきました。木はとても喜びながら、自分と昔のように遊ぼうと少年に誘いました。しかし少年は、自分には結婚して家族と一緒に住める家が必要だと言いました。そこで、木は自分の枝を切って、それで家を建てたらどうと言い、少年はその話通りにしました。そして、少年に全ての枝を与えてくれた木は、もう大きな幹だけの姿となりましたが、それでも幸せでした。それから少年はまた長い間戻って来てくれませんでした。その長い年月のある日、少年はやっと来てくれました。幹だけの木は喜びに満ち溢れて、少年を迎えてくれました。でも、少年は遠くのところに行くための舟が欲しいと言い、木に何とかしてくれるように頼みました。そこで、幹だけの木は自分の大きな幹を切って、それで舟を作ったらどうと言いました。少年はその通りにし、木はもう切り株だけになりましたが、それでも木は幸せでした。木はまた独りとなり、そのまま長い時間を過ごさねばならなくなりました。そしてある日、もう年寄りとなった少年が来ました。木は喜びましたが、自分にはもう少年のためにできることがないと言いました。その時、少年は腰を下ろして休みたいと言い、そこで木は自分の切り株を少年に与えました。そして自分のすべてを少年に与えることができ、木は幸せになったということです。

六月は「イエス様のみ心の月」です。この六月の間、教会はすべての信者がイエス様のみ心を思い起こしつつ、そのみ心に倣うことを勧めます。イエス様は罪深いわたしたちのために、自ら十字架の上のいけにえとなられました。羊飼いが羊たちの命を救うために、自分の命を捧げたということは、何と感謝すべき神秘的なのでしょうか。その羊飼いであるイエス様のみ心をわたしたちが完全にはかるのは、当然できないことに違いありません。ここで「わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの轡を負い、わたしに学びなさい。」というイエス様のみ言葉を味わいたいと思います。これはイエス様がご自分の心についておっしゃったみ言葉ですが、言い換えれば、イエス様のみ心は柔和で謙遜であるということです。そのみ心をもって、イエス様は「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」と言われました。つまり、イエス様のみ心はわたしたちを癒し、慰め、また、休ませてくれるとい

うことです。実に、イエス様はわたしたちがそのみ心にとどまり、そこで、癒しと慰め、愛と平和、力と希望、そして豊かな恵みを得ることを望んでおられます。それは、旧約聖書の「主は我らの牧者、わたしは乏しいことがない。」という美しい詩編どおりです。その牧者であるイエス様のみ心は乾くことのない泉であり、わたしたちはその泉からイエス様の様々な恵みを汲んで、周りの人たちにそれを分け与えることができるのです。

でも残念なことに、わたしたちはそういった恵みを求めながらも、実際にイエス様のみ心に静かにとどまることにけちではないかという気がします。考えてみたら、わたしたちはいつも忙しく何かをしていますが、それはほとんど自分のためのことで、わたしたちの祈りも、ほぼそれらのことを叶えるための祈りだと思えます。でもイエス様のみ心にとどまる時間はわずかででしょう。教会の中でも、心静かにイエス様と出会うのは一部の信心深い人たちに与えられた特別な恵みのように見なされます。それは自分の信仰を自ら無視することに違いありません。

イエス様は「おおきな木」のように、いや、どんな秤でも量ることができないほどわたしたちを愛しておられます。ご自分の身も心も、すべてをわたしたちに与えてくださるそのイエス様が望まれるのは、ただ、ご自分と共にとどまることだけです。イエス様のみ心にとどまって、その「柔和と謙遜」を学び、周りの人たちにイエス様の癒しと慰め、愛と平和、力と希望、そのほか多くの恵みを分け与えることこそが、わたしたち信仰のある人たちが行うべきことなのです。この六月、イエス様のみ心を慕いながら、そのみ心の中で、少しとどまるのはいかがでしょうか。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求



5月教会委員会報告

【司祭】

イエス様の対話方法を考えてみたいと思います。今日の福音箇所、ヨハネ 21：15-19 は神学的にはペトロの 3 回の否みを許して下さると解釈します。相手の過ちを私たちは受け入れて、対話をしながら、互いの道を見出す事が出来るかが、イエス様の 3 回の愛しているかという問いに含まれています。あなたは私を愛さなければならないという事ではなく、ペトロが自分の力の限りの愛を果たす様に導くイエス様の対話方法を、私たちは見倣う必要があります。時間はかかりますが、根気と忍耐をもって、課題を一つ一つ解決しながら信仰の道を歩むべきと思います。教会委員会や各団体のメンバーの意見・話を聴いて共に歩む道を見出す事が大切です。

【今月の検討項目】

1. 2022 年復活祭課題と対応

- ・ 2 階集会室の後部は司祭と祭壇が見えない為、今後は中継モニターを設置する事にします。
- ・ 聖堂内の座席増（20 席～40 席）を図り、2 階集会室が密になる事を軽減します。

2. その他

- ・ 6 月 12 日からの「ミサ」スケジュール案内は郵便で行います。（期間は待降節前まで）
- ・ H P 刷新に関して：システム更新時にトラブルが発生した為、バージョンを戻し対応しました。今後の事も考え、H P 管理のアウトソーシング化・システムの変更も含め検討します。
- ・ 信徒からの提案・意見

- ① ステンドグラス常設提案：アンケートドラフトを次月会議で提示します。
- ② 教会来訪者への案内板掲示の提案：来訪者への案内版掲示を致します。

- ③ 売店箇所の整理と工夫されたディスプレイ（情報交換の場）への提案
 - ・神父様を中心に検討をします。皆様からの提案・意見をお願いします。
- ④ ミサ中に騒ぐ子供への対応に関して
 - ・親子室を使用出来るようにしました。
 - 親子室の本来のあり方は、赤ちゃんへの授乳やあやすためにあります。
 - 子供達を育むには、共同体で支え見守る事が必要です。
 - 落ち着かないお子さんへは、温かい眼差しをもって接して行く必要があります。
- ⑤ 聖体拝領のあり方に関しての提案
 - ・聖体拝領に関して、ミサを通して神父様から説明していただきます。
- ⑥ 教会の守護聖人である二十六聖人を知る企画依頼の提案
 - ・二十六聖人を知る事は良い事ですので一過性にならない企画を考え実施します。

【その他の検討・確認事項】

1. 事務所：ウクライナ支援の献金要望もある事から、専用封筒を用意し教会として常設致します。献金をされる方は、専用封筒を利用し事務所ポストへ投函して下さい。
2. 委員会・信徒会
 - (典礼委員会)
 - ・5月より、主日ミサでの朗読・先唱の奉仕が始まります。
 - 奉仕をしていただける方は典礼委員までお知らせ下さい。
 - ・5月はマリア様の月ですが、主日ミサ前のロザリオの祈りは行いません。
 - 皆様、各ご家庭でお祈り下さい。
 - (教会学校)：5月15日(日)10:00~10:45にて教会学校を再開します。
 - (キリスト教講座)
 - ・4月16日(土)復活徹夜祭で5名の方の洗礼・堅信式が行われました。
 - ・4月23日(土)委員会を開催し、2022年の講座カリキュラム等の打ち合わせ実施。
 - ・ミサ前に携帯電話の注意を行う必要があります。(ミサ中着信音が確認されています)
 - (建物管理委員会)
 - 聖堂マリア像照明の不具合は、交換手配済です。(LED照明にします)
 - (共同墓地管理委員会)：上大岡共同墓地利用者33家族へ、葉書を送付しました。
 - (ヨゼフ会)
 - ・4月24日(日)ヨゼフ会例会を開催しました。(参加者13名)
 - 練成会・光(コーヒーマービス)は、状況を見て再開を考えます。
 - (マリア会)
 - ・受洗者(新マリア会会員4名)へお祝いカードをお渡ししました。
 - ・ボリビア支援グループでは、個人的にジャム販売した収益金と、個人の方からの献金の合計154,116円を、ボリビア、オガール・ファティマの子供達に役立つことを願い、イエスのカリタス修道女会へ送金致しました。ご協力ありがとうございました。
 - (青年会)
 - ・4月の『二十六聖人』の巻頭言「キリストの十字架上の7つのみ言葉」の音読動画は、皆様に喜んでいただけました。5月も引き続き、「聖母七苦」を音読して録音したものを作成します。
 - ・聖霊降臨の祭日に向けて、今年も「聖霊降臨」カードを作成致します。
 - (インターファミリーグループ)
 - ・4月17日(日)ミーティングを実施しました。
 - *シノドス質問 ①旅の同伴者 ②聴く事 の分かち合い
 - *墓地/共同墓地についての質疑
 - ・次回ミーティングは5月末を予定しています。

以上

受洗 おめでとうございます！！

ご復活徹夜祭で洗礼と堅信の秘跡をお受けになった方々から、感想文が届きました。ここに掲載して、信徒の皆さまと喜びを分かち合いたいと思います。



「受洗の喜びに寄せて」

このたび洗礼のお恵みを賜り、誠にありがたく、深い喜びに満たされています。神父様、代母様、また入門講座の委員の方々には様々にお取り計らいいただき、そして兄弟姉妹の皆様の祈りがこの道をお支えくださいました。改めて心より感謝申し上げます。

共同体の一員として信仰を深め、どの様な状況にあっても神様に心を向けられるように在りたいと思います。今後ともどうかよろしくお願い致します。

リタ K. R.

「受洗のよろこび」

今年の復活徹夜祭に、待ちこがれていた洗礼と堅信を受けることが出来てとても嬉しいです。洗礼を受けてからは眠る前も、今も、神様がすぐそばにいてくださるようになって安心してます。私が洗礼を受けたいと思ったのは、代母のエスペランザさんやインターファミリーの友人のように、信仰をもって誰にでも優しく出来る人になりたいと思ったからです。霊名は親しみを感じていた「マザー・テレサ」にしました。これからたくさんミサに与ってご聖体を頂いて、イエス様とみんなとの絆を深めていきたいと思います。

マザー・テレサ T. H.

4月16日、復活の聖なる徹夜祭の中で、長年の夢である洗礼と堅信の秘跡にあずかることができました。これからの人生を神様と共に過ごすことができるのを、心からうれしく、しあわせに思います。共同体の中で、キリストの道を御一緒に歩んで参りたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

アロイジア K. K.

「受洗、その後」

4月16日、神様と信者の皆様の優しさに包まれながら受洗したわたしは、今までとは違う人の真の優しさに触れた感じがして感動さえ覚えました。有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

その後は、家族みんなカトリック信者となり、より一層家族の絆と結束を感じ、家族みんなで喜びました。これを機に家族みんなで頑張る良いスタートとなりました。

ラファエル K. T.

横浜教区にフィー新助祭が誕生しました！！



5月8日(日)山手教会にてドミニコ・タン・ホアン・フィー神学生が助祭叙階されました。

覚えていらっしゃる方も多いと思いますが、フィー助祭は2015年8月～2017年4月まで、二俣川教会で生活していました。李廷胤神父様が帰国される際に、司教館に

引っ越し、今は小田原教会を日本の実家のようにしておられます。(ナン神学生にとっては二俣川教会が日本の実家であるのと同じです。)



2016年頃



5月8日、復活節第4主日であり、『世界召命祈願の日』にもあたるこの日、山手教会の主日ミサの中で行われた助祭叙階式。梅村司教様の司式で、東京カトリック神学院の院長でいらっしゃる稲川圭三神父様をはじめ数名の神父様が見守る中、執り行われました。以下、フィー新助祭による、助祭叙階式後の挨拶です。

2016年クリスマス

『慈しみ深い神の恵みで今日叙階されまして、神に感謝いたします。本日、私に助祭叙階を与えてくださった梅村司教様、深くお礼申し上げます。また、いつも祈っていただいている方々、ここに集まって下さっている方々、ライブ配信を見ている方々に御礼申し上げます。素晴らしいミサをいただき、身が引き締まる思いであります。今日、ミサでいただいたお言葉を胸に、聖職者として新たな信仰生活を築いていきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。感謝の気持ち言葉を言い尽くせません。今日は本当にありがとうございました。』



諸聖人の連願



神様の御旨であれば、来年、ベトナムで司祭叙階され、その後横浜教区司祭として働いてくださることになります。

フィー新助祭の為にこれからも共に祈りましょう！

教会委員会

(今号では、都合により「シノドスの10の質問」を休載します。ご了承ください。)



初夏の到来！と言っても季節の変わり目は身体がだるく気力が湧かないことも多いので食欲が落ちます。そんな時に私がよく食べるのはゼリーです。スーパーなどで購入もできますが、手作りすればなんとと言っても安価。食物繊維たっぷりの寒天を食前に食べるとダイエットの助けになるので若い人に人気ですが、骨粗鬆症や便秘の改善にも有効な食品なので、私たちこそ食すべきものです。今回は寒天、特に、扱いの楽な粉寒天を使ったゼリーの紹介です。

「簡単すぎる寒天ゼリー」

- ① 紙パック入りのお好きなジュース 600cc から 800cc に、粉寒天小さじ 2 杯(4g)を鍋に入れ、沸騰する迄かき混ぜ、さらに 2 分間、少し火を弱めてかき混ぜ続けます。
- ② 粗熱が取れてから器に流し入れて冷蔵庫で 2 時間冷やし固めます。

ジュースの量に幅があるのは、柔らかいゼリーをお好みの方は 800cc を、固いのが好きだったら 600cc くらいにという事です。空き時間にストックしておくといいでしょう。冷蔵庫に空きがないという方は：粗熱が取れたら、紙パックに戻し、立てて冷蔵庫に収納しましょう。固まったら、パックから出して、カットしてサービスするか、スプーンで掬って、器に入れます。フォークで崩して、その上に、アイスクリームを乗せるのも素敵です。



(写真は、右から 野菜ジュース、パインジュース、トマトジュース です。)

野菜不足を感じている方には野菜ジュースのゼリーをお勧めします。ビタミンや鉄分が入っているジュースに食物繊維が加わり、鬼に金棒!! 朝から野菜を洗って切ってなんて面倒くさいと言う方にも良いですね！

作り方：紙パックの 200cc ぐらいの野菜ジュース 2 個、粉寒天小さじ 1.5 杯をジュースと同じように煮溶かし、粗熱をとって容器に入れましょう。野菜ジュースは甘いものもあるのでスイーツとしても十分です。更に、サラダ感覚に徹底したかったらトマトジュースが良いでしょう。紙パック 200cc ぐらいのものに塩や少しのノンオイルドレッシングなどで味を整え、また濃厚なジュースでしたら水 50cc を加えて、粉寒天小さじ 1 杯で硬めに作ります。トッピングにマヨネーズとパセリを乗せると色合いも食欲をそそります。

梅雨のシーズンに入ってもしっかりと食べて元気に過ごしましょうね！

マリア会 K. M.

【編集後記】 5月の「聖母月」に続いて、6月は「イエス様のみ心の月」です。巻頭言では、イエス様の大きな愛を、包み込むような優しさを持つ大木に例えて話して下さっています。マリア様はすべてを受け止めて取り次いでくださる方ですが、イエス様はすべてを与えてくださる方なのだとして改めて気づかされました。コロナの状況になって3年、滞っていることが多い中で、二俣川教会という牧場では5名の方々が洗礼と堅信のお恵みをいただいて、信徒という名の羊のグループに加わることができました。本当に嬉しいことです。マリア様の取り次ぎを願いながら、イエス様の愛のうちに、信仰の道を皆で一緒に歩いていきましょう。(N. F. 記)